

令和 2 年 4 月 28 日
(公財) 横浜市緑の協会
よこはま動物園

フランソワルトンの 赤ちゃん誕生

令和2年4月11日(土)、よこはま動物園ズーラシアでフランソワルトンの赤ちゃん(オス)が誕生しました。ズーラシアで生まれたフランソワルトンは今回の赤ちゃんで19頭目となります。母親は、現在18歳のミカンで、ズーラシアで飼育している個体の中では1番高齢の個体となります。今までに、同じ群れで飼育しているユズ、レモンを立派に育て上げたベテランお母さんで、今回もしっかり赤ちゃんを抱いて面倒をみえています。

フランソワルトンの赤ちゃんは、全身黒い毛でおおわれている、おとなとは異なり、全身オレンジ色の毛でおおわれています。赤ちゃんの色は、群れのおとなの「子守行動」を誘発させると考えられています。毛色は徐々に変化し、生後6か月~1年程で、おとなと同じ全身黒色になります。



母親のミカンと赤ちゃん
(4月12日撮影)



生まれたばかりの赤ちゃん
(4月12日撮影)



指定管理者：(公財) 横浜市緑の協会

お問合せ先

よこはま動物園 副園長 久保 良法 Tel 045-959-1298

【参考資料】

■ 個体情報

父 親	愛称：ニンニン	平成 14 年 5 月 20 日生まれ
母 親	愛称：ミカン	平成 13 年 7 月 31 日生まれ
子（オス）	愛称：未定	令和 2 年 4 月 11 日生まれ

■ フランソワルトンについて

和 名	フランソワルトン
英 名	Francois' Langur
学 名	<i>Trachypithecus francoisi</i>
分 類	霊長目 オナガザル科
分 布	ベトナム北部から中国南部の一部
生 態	ベトナム北部から中国南部の一部にかけて分布し、4～6 亜種または種に分類されますが、ズーラシアではベトナム北部から中国南部にかけて生息している基亜種を飼育しています。河川に面した石灰山地や険しい岩山のある熱帯モンスーン林に棲んでいて、1 頭のオスに対し、複数のメスからなる群れを形成しています。生息数が少なく、絶滅が心配されています。
ワシントン条約 (CITES)	附属書Ⅱ 現在は必ずしも絶滅のおそれはないが、取引を規制しなければ絶滅のおそれのあるもの
国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト	絶滅危惧ⅠB 類 (EN) 近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
当園飼育頭数	11 頭（オス 6 頭、メス 5 頭） ※今回生まれた子を含む
国内飼育園館	6 園館 28 頭（オス 13 頭、メス 15 頭） ※令和 2 年 1 月末現在

■ よこはま動物園ズーラシアについて

- ◆ 入 園 料：大人 800 円、中人・高校生 300 円、小・中学生 200 円、小学生未満無料
毎週土曜日は高校生以下無料（要学生証等）
よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18 歳以上 2,000 円
- ◆ 開園時間：9:30～16:30（入園は 16:00 まで）
- ◆ 休 園 日：毎週火曜日（祝日の場合は開園し、翌日休園）
※2 月 29 日～ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休園中
- ◆ 交 通：相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅、JR 横浜線・横浜市営地下鉄「中山」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 15 分、「横浜」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 1 時間
- ◆ U R L：<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>
- ◆ 住 所：横浜市旭区上白根町 1175-1
- ◆ 問合せ先：045-959-1000